



10月 どうぶつぐるーぷだより

2026. 10. 1



～うんどうあそびたのしみだね！～

「ぴっばぴっばのふしぎなくに」の絵本を読んで、ホールで体を動かして楽しんで来たどうぶつグループの子どもたち。色集めを楽しんでいると「あつめたいろでロケットが作りたいなぁ・・・」という子どもたちの声からどうぶつさんのロケットをみんなで作りました♪ロケットの色はさくらさんも一緒に「なにいろがいいかなぁ・・・」と考えたり、ゆりさん・ばらさんは夏のあそびのなかで絵の具を使ってロケットに色をつけてくれました！

うんどうあそびの日には妖精ぴっばぴっばのように跳びながらお相手さんと一緒にいろ集めに出かけます♪フープの道をゆりさんは片足でバランスを取りながらリズムに合わせて左右に跳び、ばらさんは両足で力強く左右に跳んでいきます。そしてさくらさんは両足を揃えることを意識しながら跳んでいます。同じジャンプのあそびでも年齢によってバランスやリズムのとり方、体の動かし方など一人一人違いがあり、そんな子どもたちの姿にも注目して見ていただけたらと思います。

さくらさんや新入園児さんにとっては初めてのうんどうあそびの日です。ドキドキするお友だちもいると思いますが、お相手さんやお友だちと一緒に参加することで、安心してあそびを楽しんで欲しいと思います。ばらさんは、ゆりさんの姿を見てお友だち同士協力し、ゆりさんと共にあそびをリードして欲しいと思います。そしてゆりさんは最後のうんどうあそびの日になります。ひとつひとつの行事が最後になりますが、「がんばってよかった！」と思える一日になるように、本番だけではなく練習の時から一番大きいゆりさんとして頑張り続けてもらいながら子どもたち一人一人が力を出し切り、みんなで自信を持って楽しんでいくことができたらと思っていますので楽しみにしててくださいね♪



ゆり

『まじょさんのふしぎなホウキ』

魔女さんからもらった可愛い歌に合わせて、楽しんでいるバンブーダンスですが、遊びを重ねていく中で自分の力や気持ちだけでは、うまく跳ぶことが出来ないことに気づいた子どもたち。

子どもたちだけで取り組む中で、お友だちのためにホウキを動かしてあげる役目もあります。「ひざがいたいよ～」「てをふまはった～」と練習が止まってしまうこともたくさんありました。みんなで『どうしたらうまく跳べるようになるだろう・・・』と話し合い、「ホウキを低く動かしてあげる」「元気いっぱい歌って合わせる」とお友だちのことを思う気持ちが大切！と気づいたゆりさん。少しずつ子どもたちの表情やお友だちへの声掛けも変わってきました。ゆりさんにとっては最後のうんどうあそびの日になります。ひとりひとりがこれまで頑張ってきた力を出しきり、お友だちのことを信じて取り組むバンブーダンスを暖かく見守って頂けたらと思います。

